

2022年度 「音楽科の資質・能力」表

※ □は、資質・能力の取り扱い学年，■は、定着学年を示す。

		内 容	学習指導要領との関連内容	1年	2年	3年	4年	5年	6年
音楽科の学びに向かう力、人間性等	ア	自分と周囲が奏でる響き合いの美しさ、心地よさを味わいながら、優しい気持ちで演奏しようとする。	A (1) ウ A (2) ウ	□	□	■	■	■	■
	イ	パートの重なりが作り出す音の重なり的美しさに気づき、互いのバランスを考えながら演奏しようとする。	A (1) ウ A (2) ウ		□	□	□	■	■
	ウ	音を音楽にしていくことに関心をもち、進んでつくる活動にかかわろうとする。	A (3) ウ	□	□	□	■	■	■
	エ	様々なジャンルの楽曲に関心をもち、進んで聴こうとする。	B (1)	□	□	■	■	■	■
	オ	よりよい音楽表現を目指して、課題解決のために、自分なりの目標をもち、互いに支え合いながら音楽活動をしようとする。	A・B	□	□	□	■	■	■

音楽科の各領域の付けたい力 A表現	歌唱の活動								
	1	曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌いたいのか、思いをもって歌う。	1・2A (1) 7	□	■	■	■	■	■
	2	曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌いたいのか、思いや意図をもって歌う。	3・4A (1) 7			□	■	■	■
	3	曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌いたいのか、思いや意図をもって歌う。	5・6A (1) 7					□	■
	4	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いて歌う。	1・2A (1) イ	□	■	■	■	■	■
	5	曲想と音楽の構造や曲想と歌詞の内容との関わりに気付いて歌う。	3・4A (1) イ			□	■	■	■
	6	曲想と音楽の構造や曲想と歌詞の内容との関わりを理解して歌う。	5・6A (1) イ					□	■
	7	範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする。	1・2A (1) ウ(7)	□	■	■	■	■	■
	8	範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う。	3・4A (1) ウ(7)			□	■	■	■
	9	範唱を聴いたり、ハ長調やイ短調の楽譜を見たりして歌う。	5・6A (1) ウ(7)					□	■
10	自分の歌声や発音に気を付けて歌う。	1・2A (1) ウ(イ)	□	■	■	■	■	■	

A表現

11	呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う。	3・4A(1)ウ(イ)			<input type="checkbox"/>	■	■	■
12	呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う。	5・6A(1)ウ(イ)					<input type="checkbox"/>	■
13	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。	1・2A(1)ウ(ウ)	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■
14	互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。	3・4A(1)ウ(ウ)			<input type="checkbox"/>	■	■	■
15	各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う。	5・6A(1)ウ(ウ)					<input type="checkbox"/>	■
器楽の活動								
16	曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもって演奏する。	1・2A(2)ア	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■
17	曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもって演奏する。	3・4A(2)ア			<input type="checkbox"/>	■	■	■
18	曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもって演奏する。	5・6A(2)ア					<input type="checkbox"/>	■
19	曲想と音楽の構造（リズムや旋律などの特徴）との関わりについて気付く。	1・2A(2)イ(ア)	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■
20	曲想と音楽の構造（リズムや旋律、各声部の役割、曲全体の構成の特徴）との関わりについて気付く。	3・4A(2)イ(ア)			<input type="checkbox"/>	■	■	■
21	曲想と音楽の構造（音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みの関係）との関わりについて理解する。	5・6A(2)イ(ア)					<input type="checkbox"/>	■
22	楽器の音色のよさや面白さ、演奏の仕方を工夫することで音色が変わることに気付く。（鍵盤ハーモニカなど）	1・2A(2)イ(イ)	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■
23	楽器がもつ固有の音色や響きのよさ、楽器の演奏の仕方や楽器の組み合わせなどの工夫で音色や響きが変わることに気付く。（リコーダーなど）	3・4A(2)イ(イ)			<input type="checkbox"/>	■	■	■
24	多様な楽器の音色や響きのよさ、演奏の仕方を工夫することで楽器の音色や響きが変わることを、演奏を通して理解する。	5・6A(2)イ(イ)					<input type="checkbox"/>	■
25	範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する。	1・2A(2)ウ(ア)	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■
26	範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する。	3・4A(2)ウ(ア)			<input type="checkbox"/>	■	■	■

A表現

27	範奏を聴いたり、ハ長調やイ短調の楽譜を見たりして演奏する。	5・6A (2)ウ(ア)						<input type="checkbox"/>	■
28	身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて旋律楽器や打楽器を演奏する。	1・2A (2)ウ(イ)	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■	■
29	音色や響きに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏する。	3・4A (2)ウ(イ)			<input type="checkbox"/>	■	■	■	
30	音色や響きに気を付けて、適切な演奏の仕方でも旋律楽器や打楽器を演奏する。	5・6A (2)ウ(イ)					<input type="checkbox"/>	■	
31	互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。	1・2A (2)ウ(ウ)	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■	■
32	互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。	3・4A (2)ウ(ウ)			<input type="checkbox"/>	■	■	■	
33	各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する。	5・6A (2)ウ(ウ)					<input type="checkbox"/>	■	
音楽づくりの活動									
34	声や身の回りの様々な音に親しみ、その場で様々な音を選んだりつなげたりして音遊びをする。	1・2A (3)ア(ア)	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■	■
35	見つけた音や工夫した音を使って、その場でいろいろな音を選択したり組み合わせたりして即興的に表現する。	3・4A (3)ア(ア) 5・6A (3)ア(ア)			<input type="checkbox"/>	■	■	■	
36	試しながら音楽をつくる中で、このような音楽をつくりたいという考えをもつことができる。	1・2A (3)ア(イ)	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■	■
37	試行錯誤しながら音楽をつくる中で、このような音楽を、このように構成してつくりたいという考えをもつことができる。	3・4A (3)ア(イ)			<input type="checkbox"/>	■	■	■	
38	試行錯誤しながら音楽をつくる中で、全体のまとまりを考えて、このような音楽を、このように全体を構成してつくりたいという考えをもつことができる。	5・6A (3)ア(イ)					<input type="checkbox"/>	■	
39	声や身の回りの様々な音の特徴が生み出す面白さに気付くことができる。	1・2A (3)イ(ア)	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■	■
40	いろいろな音の響きや、いくつかの音のひびきを合わせた音の特徴が生み出す面白さに気付くことができる。	3・4A (3)イ(ア) 5・6A (3)イ(ア)			<input type="checkbox"/>	■	■	■	
41	音を組み合わせでつくったリズムパターンや短い旋律を反復させたり、呼びかけ合うようにしたり、変化させたりする面白さに気付くことができる。	1・2A (3)イ(イ)	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■	■	■
42	リズムパターンや短い旋律を同時に重ねたり、時間をずらして重ねたりする面白さに気付くことができる。	3・4A (3)イ(イ) 5・6A (3)イ(イ)			<input type="checkbox"/>	■	■	■	

<音楽科の学びを支える「見方・考え方」>

a 【共通事項】の「音楽を形づくっている要素」に着目し、その働きの視点で楽曲を感受し、表現すること。

<領域の学びを深める「見方・考え方」>

A表現 b 「音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズ」などの音楽を特徴付けている要素に着目し、それらの要素のよさを味わいながら表現する。

c 「反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の縦と横との関係」などの音楽の仕組みに着目し、それらの働きが生み出すよさを感じながら表現する。

B鑑賞 d 楽曲の音楽の構造（音楽を形づくっている要素の表れ方や、音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みとの関わり）に着目し、曲や演奏のよさを見だし、全体を味わいながら聴く。